



令和5年度 茨城県優秀教職員（ティーチャー オブ ティーチャーズ）表彰式について

標記のことについて、下記のとおり開催いたします。

継続的な実践で成果をあげ、他の教員の指導力向上に寄与している教員「ティーチャー オブ ティーチャーズ」を表彰します。教職の魅力向上の機会にしたいと考えておりますので、ぜひご取材ください。

1 日時及び会場

日 時 令和5年11月22日（水）10時30分～11時30分

会 場 県庁11階アトリウム（*県庁23階会議室から変更になりました）

2 令和5年度の被表彰者

（ティーチャー オブ ティーチャーズ）

学 校 名	職 名	氏 名
常陸太田市立水府小学校	教諭	曾根 勉
茨城町立大戸小学校	教諭	中島 潤一
行方市立玉造中学校	教諭	浅野 孝志
茨城県立竜ヶ崎第二高等学校	指導教諭	若林 美穂

3 表彰式次第

開式

表彰

教育長あいさつ

被表彰者あいさつ

閉式

閉式後、写真撮影

4 優秀教職員（個人・若手）の表彰

* 表彰状伝達式を別途開催

< 優秀教職員（個人・若手教職員奨励賞）19名 >

優秀教職員表彰状伝達式（取材の際は各教育事務所・所属校に御連絡ください）

日時 令和5年11月22日（水）から11月30日（木）の間

場所 各教育事務所（市町村立学校）、所属校（県立学校）

参考資料 10月3日、教育長定例記者会見の資料を添付いたします。

< 問い合わせ先 >

教育庁学校教育部 教育改革課 人事制度改革担当（029-301-5399）

令和5年度優秀教職員の表彰について

1 優秀教職員制度の概要

- ・ 学習指導や生徒指導等の教育分野のうち特定の分野において創意にあふれ特色ある指導を実践し、顕著な教育効果をあげており、他の教職員の模範となる教職員（個人及び組織）を表彰する。
- ・ このうち、特に継続的な実践で成果をあげ、他の教員の指導力向上に寄与している教員は、「ティーチャー オブ ティーチャーズ（TOT）」として表彰する。
- ・ 表彰により功績を称え、被表彰者のスキル・経験等を適切に活用することで、教職員全体の意欲と資質の向上を図る。
- ・ 令和2年度から、将来さらに顕著な成果をあげることが期待される者を表彰するため、「若手教職員等奨励賞」を新設した。

2 令和5年度の被表彰者

ティーチャー オブ ティーチャーズ（TOT）	4名
優秀教職員（個人）	17名
優秀教職員（若手教職員等奨励賞）	2名

今年度は優秀教職員（組織）の該当はありません。
 被表彰者の一覧及びTOT表彰理由は別添資料のとおりです。ぜひ御取材ください。
 （取材の際は各所属校に御連絡ください）
 ティーチチャー オブ ティーチャーズ（TOT）の表彰式を11月22日（水）10時30分より、
 県庁23階教育庁西側会議室で実施する予定です。*県庁11階アトリウムに変更

3 表彰基準

学習指導
 生徒指導・進路指導等
 部活動指導
 学校体育・学校保健及び学校給食指導
 特別支援教育

幼児教育
 地域との協働の推進、学校事務の機能強化
 など学校運営の改善
 ユネスコ活動や国際交流等
 働き方改革に関する業務改善等
 その他学校において模範となる指導

4 今後の活用

- 教職員研修における講師
- 近隣校や希望校での模擬授業や講義
- 指導案や実践報告等を配信・共有
- 指導事例集等の執筆・編集
- 各種部活動指導者講習会における講師



教職員全体の
 資質向上

<問い合わせ先>

教育庁学校教育部	教育改革課	人事制度改革担当（029-301-5399）
	義務教育課	人事担当（029-301-5220）
	高校教育課	人事担当（029-301-5256）
	特別支援教育課	人事・計画担当（029-301-5275）

令和5年度 TOT及び優秀教職員被表彰者一覧

区分	No.	校種	学校名	職名	氏名	性別	表彰内容	TOT	優秀	若手
TOT	1	小学校	常陸太田市立水府小学校	教諭	曾根 勉	男	学習指導	○	○	
	2	小学校	茨城町立大戸小学校	教諭	中島 潤一	男	学習指導	○	○	
	3	中学校	行方市立玉造中学校	教諭	浅野 孝志	男	学習指導 生徒指導や進路指導	○	○	
	4	高等学校	茨城県立竜ヶ崎第二高等学校	指導教諭	若林 美穂	女	学習指導 学校運営の改善	○	○	
優秀 教 職 員	5	小学校	水戸市立吉田小学校	教諭	細谷 泰子	女	その他		○	
	6	小学校	水戸市立酒門小学校	教諭	綿引 昌子	女	学習指導		○	○
	7	小学校	龍ヶ崎市立長山小学校	係長	田口 はるみ	女	学校運営の改善		○	
	8	小学校	北茨城市立平潟小学校	指導教諭	橋本 順徳	男	学習指導		○	
	9	小学校	つくば市立東小学校	教諭	井上 宏実	女	学習指導 生徒指導や進路指導		○	
	10	小学校	守谷市立大野小学校	教諭	寺田 陽子	女	学習指導 生徒指導や進路指導		○	
	11	中学校	古河市立三和中学校	主幹教諭	中川 美幸	女	学習指導 学校運営の改善		○	
	12	中学校	坂東市立南中学校	教諭	相田 裕介	男	学習指導		○	
	13	中学校	神栖市立波崎第二中学校	教諭	堀川 久珠子	女	学習指導		○	
	14	義務教育学校	かすみがうら市立千代田義務教育学校	教諭	三村 真木子	女	学校体育		○	
	15	県立中学校	茨城県立鹿島高等学校附属中学校	教諭	大槻 峻史	男	学習指導		○	
	16	高等学校	茨城県立大子清流高等学校	教諭	渡邊 絵美子	女	その他		○	○
	17	高等学校	茨城県立水戸第二高等学校	教諭	浦川 順一	男	学習指導		○	
	18	高等学校	茨城県立海洋高等学校	教諭	工藤 直美	女	学習指導		○	
	19	高等学校	茨城県立東海高等学校	教諭	手塚 俊	男	学校運営の改善 働き方改革に関する業務改善		○	
	20	高等学校	茨城県立土浦第三高等学校	教諭	片岡 明美	女	学習指導		○	
	21	高等学校	茨城県立取手松陽高等学校	教諭	郷 恵子	女	学習指導		○	
	22	特別支援学校	茨城県立水戸特別支援学校	教諭	八柳 千穂	女	特別支援教育		○	
	23	特別支援学校	茨城県立友部東特別支援学校	教諭	飯島 伸介	男	特別支援教育		○	

令和5年度 ティーチャー オブ ティーチーズ (TOT) 表彰理由

No	学校名	職名	氏名	該当	実践内容及びその成果
1	常陸太田 市立 水府小学校	教諭	ソネ ツトム 曾根 勉	学習指導	<p>・研究主任として、中学校と連携を図り小中一貫校における9年間を見通した「自分の考えを表現できる力の育成」に取り組み、9年間のカリキュラム・マネジメントを確立した。小・中学校教員に研究目的の共有を図り、協働で学習指導に取り組める研修体制づくりと教員の指導力を高める指導・助言を根気強く丁寧に行っており、小・中一貫教育校の強みが生かされるよう円滑な学校運営に大いに貢献している。</p> <p>・教務主任として、企画力に優れ、行動力があり、先を見通した適切な教育計画を作成することができる。明るい性格で、思いやりと責任ある言動がとれるため、保護者や児童生徒からの信頼も厚く、学校運営の要となっている。</p> <p>・内地留学（社会）の成果を生かし、思考力・判断力・表現力を高める社会科学習の在り方を追究し、効果的にICTを活用し体験と資料を活用しながらの課題提示、学び合える場の設定など、自分の考えを表現できる児童生徒の育成を図る授業を展開している。</p>
2	茨城町立 大戸小学校	教諭	ナカジマ ジュンイチ 中島 潤一	学習指導	<p>・市の教科指導員や内地留学、研修センター研究協力員、情報教育対応教員研修全国セミナーでの発表者などの理科教育指導について研鑽を積んできた。その成果を生かし、令和3年度の「1人1台端末を活用した学びのイノベーション推進プロジェクト」において、研究の中心となって取り組み、学校内だけでなく、県内他市町村の教職員にも研究成果を広く知らせ、児童の学力向上と理科教育の発展に貢献した。今後も校内のみならず、県内外の教員の指導力向上や人材育成において大きな期待がもてる。</p> <p>・謙虚で実直な勤務態度で、同僚及び児童、保護者、学校関係者からの大きな信頼を得ている。今年度は6年主任・研究主任として児童一人一人のよさを伸ばす学級経営と行うとともに、教職員の授業力向上にも寄与している。</p>
3	行方市立 玉造中学校	教諭	アサノ タカシ 浅野 孝志	学習指導 生徒指導 や進路指導	<p>・内地留学（数学）の研究を基軸として、計画的、継続的に数学の学習指導の工夫改善はもとより、全校体制での教科横断的な学習指導の工夫改善につなげていることは高く評価できる。研究の成果を生かし、生徒や保護者に対して、キャリア教育の視点で「学ぶことの意味・意義」について理解啓発活動に取り組んだことは、生徒指導上の教育的予防の機能を果たし、生徒の授業や家庭学習への取組の改善とともに、生徒の問題行動の未然防止にもつながっている。</p> <p>・教務主任として生徒の確かな学力を身に付けさせるために、学び直しの時間を日課表に位置付ける等、教育課程の工夫改善を図っている。生徒・保護者・教職員からの厚い信頼を得ながら、学習指導、生徒指導、キャリア教育の推進・充実を図るための中心的役割を担っている。</p>
4	茨城県立 竜ヶ崎第二 高等学校	指導 教諭	ワカバヤシ ミホ 若林 美穂	学習指導 学校運営 の改善	<p>【学習指導の取り組み】 ○「教科に関する研究」や「教職員等中央研修」等の機会を通じて、生徒へのアプローチや指導者としての在り方を学び授業等で実践している。実践で得た知見を、本校や県内の若手教員、家庭科教員に発信し、本県教育の発展に尽力している。 ○「教科用図書検定調査審議会専門委員」等を務めることにより、高等学校学習指導要領の主旨を深く理解し、県教育委員会と協力して、本県家庭科教育の発展を目指し取り組んでいる。</p> <p>【地域との協働推進、学校事務の機能強化の取り組み】 ○「スマート調理台」でのICT活用を一層進めるため、パナソニック教育財団の「実践研究助成校」に応募し指定され、授業実践に取り組んでいる。「指導と評価の一体化」の具現化にも挑戦し続け、得た知見を本校のみならず県全体に波及させている。 ○ロイロノートを使った授業の事例を紹介する研修会を継続している。講師やファシリテーターを務め、多くの教員がロイロノートを積極活用できている。</p> <p>【主な研究成果・実践発表・講師等】 ○県教育研修センター：初任者研修講師、6年次研修助言者等で実践発表し、教員の授業力向上に貢献している。</p>